

第6次広尾町まちづくり推進総合計画 前期（R3～R7） 施策評価シート

作成年月 R 7年 11月

基本目標	1	豊かな自然を生かした活力ある産業のまちづくり
政策	1	第1次産業の振興
施策	①	水産業の振興

1. 施策における成果目標の達成状況

指標			年度 区分	単位	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	前期 達成状況	
活動 指標	1	雑海藻駆除面積(重機、SKフープ)【単年】	目標値	ha					3.5	3.5	
			実績値	ha	3	2.7	2.7	2.7		0	
	現状(R1)	中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	85.7	77.1	77.1	77.1	0.0	0.0
	2.5	3.5	3.5	評価		b	b	b	b		
	2	マツカワ種苗放流数【単年】	目標値	匹						50,000	50,000
			実績値	匹	49,284	47,650	53,644	47,000		0	
現状(R1)	中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	98.6	95.3	107.3	94.0	0.0	0.0	
50,000	50,000	50,000	評価		b	c	a	c			
成果 指標	1	コンブ生産量【単年】	目標値	トン					100	100	
			実績値	トン	110	85	101	91		0	
	現状(H30)	中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	110.0	85.0	101.0	91.0	0.0	0.0
	86	100	100	評価		a	c	a	b		
	2	ウニ生産量【単年】	目標値	トン						20	20
			実績値	トン	13	0	0	0		0	
現状(H30)	中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	65.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
19	20	20	評価		c	d	d	d			
特記事項	R3 (2021)		R4 (2022)		R5 (2023)		R6 (2024)		R7 (2025)		
活-1	重機:0.6ha SKフープ:2.4ha		重機:0.6ha SKフープ:2.1ha		重機:0.6ha SKフープ:2.1ha		重機:0.6ha SKフープ:2.1ha				
活-2											
成-1											
成-2											

※実績の内訳、根拠等について記載してください

評価の区分	<ul style="list-style-type: none"> a 目標達成に向け順調に進んでいる。 b 概ね順調に進んでおり、目標年次までに達成できる見込みである。 c 結果が表れていないが、目標達成に向け取り組んでいる。 d 進捗が遅れており、目標年次までに達成できない可能性がある。 e 取組内容や目標の見直しが必要な状況である。
-------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

2. 目標達成のための具体的な方法の達成状況等

＜短期的事業＞			
主な事業・取組	1. 食育及び水産業への理解を高める取組を行う		R6(2024)年度実績額 0千円
細事業名Ⅰ		実	担当課 水産商工観光課
細事業名Ⅱ		実	担当課
細事業名Ⅲ		実	担当課
R6(2024)年度実施内容	各部会より提供された水産物を使用して、計5回のふるさと給食を行った。 十勝管内漁業士会により、帯広市とかちプラザにて子どもたちへ秋さけ定置網漁の説明や、秋さけの解体実演など食育事業を行った。		
進捗状況と課題	不漁により原材料確保が難しくなっているが、ふるさと給食などを通じて水産業への理解・関心を高めていきたい。【水産係】		

主な事業・取組	2. 漁業資源を確保するための新たな技術の導入を検討する			R6(2024)年度実績額	2,660千円
細事業名Ⅰ	ウニ養殖企業化実証試験事業	実	1-1-①-1	担当課	水産商工観光課
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R6(2024)年度実施内容	令和3年度に北海道地域づくり総合交付金を活用し、十勝港湾区域内に整備したウニ養殖施設、ウニの餌となるコンブ養殖施設、施設維持管理用の作業船を用いてウニ養殖企業化試験を実施した。				
進捗状況と課題	令和6年度に初出荷を行ったが、出荷適期の見極めや品質向上など課題が残っている。企業化に向けて引き続き試験を実施する。【水産係】				

<継続的事业>					
主な事業・取組	1. ウニ増殖をはじめとした資源管理型漁業を推進する			R6(2024)年度実績額	24,295千円
細事業名Ⅰ	浅海域試験効果調査事業	実	1-1-①-2	担当課	水産商工観光課
細事業名Ⅱ	ウニ増殖対策事業	実	1-1-①-3	担当課	水産商工観光課
細事業名Ⅲ	さけます増殖事業	実	1-1-①-4	担当課	水産商工観光課
細事業名Ⅳ	沿岸有望魚種増殖開発事業	実	1-1-①-5	担当課	水産商工観光課
細事業名Ⅴ	ホッキ稚貝移植放流事業	実	1-1-①-6	担当課	水産商工観光課
細事業名Ⅵ	魚類飼育施設運営事業	実	1-1-①-7	担当課	水産商工観光課
R6(2024)年度実施内容	ウニの種苗生産・中間育成・放流や、さけますふ化放流事業など、水産資源維持・増大に向けた取り組みを実施した。				
進捗状況と課題	資源維持・増大のため、継続していく必要がある。【水産係】				

主な事業・取組	2. コンブ増産のため、コンブ生育の障害となる雑海藻の駆除を継続的に実施する			R6(2024)年度実績額	6,080千円
細事業名Ⅰ	雑海藻駆除事業	実	1-1-①-8	担当課	水産商工観光課
細事業名Ⅱ	コンブ漁場増殖事業	実	1-1-①-9	担当課	水産商工観光課
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R6(2024)年度実施内容	漁協へ補助金を支出し、SKフープによる雑海藻駆除を実施した。また、水産多面的機能発揮対策事業を活用し、活動組織によるコンブ漁場の岩盤清掃を実施した。				
進捗状況と課題	優良なコンブ漁場を維持していくため、継続的な雑海藻の駆除が必要。【水産係】				

主な事業・取組	3. 水産物の付加価値向上のため、市場施設の整備などに取り組む			R6(2024)年度実績額	0千円
細事業名Ⅰ		実		担当課	
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R6(2024)年度実施内容	※未実施				
進捗状況と課題	施設整備に向けて、漁協と協議し、検討していきたい。【水産係】				

主な事業・取組	4. 漁村の価値を再認識し、都市部の住民や次代を担う子どもたちにその魅力を伝えるため、子ども農山漁村ホームステイ事業を実施する			R6(2024)年度実績額	4,976千円
細事業名Ⅰ	子ども農山漁村ホームステイ事業	実	5-2-②-15	担当課	企画課
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R6(2024)年度実施内容	東京都荒川区立尾久西小学校の5年生54人を広尾町ホームステイ受入協議会の漁家、農家が受け入れた。(実施日:8月27日(火)~29日(木))また、広尾町内の小学生と事前オンライン交流やホームステイ中の交流事業を実施した。				
進捗状況と課題	事前オンライン交流や事後の尾久西小学校への訪問、ハロウィンかぼちゃの送付など受入以外でも各種交流事業を実施した。今後も引き続き事業を実施していくが、受入人数が増える見通しなので、受入家庭の確保が課題となっている。また、1次産業でない受入家庭が増えており、事業の目的の一つである地域資源の価値や生業への自信や誇りを再認識することからは離れつつある。【企画防災係】				

3. 施策の評価（担当課における評価）

I：施策の達成度（まちの現状と課題を解決するため、目指す方向に施策が進んでいるか）			記載者
水企	A 想定以上に進んでいる	評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ・増養殖事業など、近年の水揚げ低迷への対策となる取組を順調に実施することができた。（水産商工観光課長） ・農山漁村ホームステイ事業の子どもの受入を行うことができた。また、関連する各種交流事業も実施できた。（企画課長補佐）
	B 想定どおりに進んでいる		
	C 少し遅れている		
	D 大幅に遅れている		

II：施策の有効性（施策を推進するにあたって、事業の構成や規模、成果は有効であったか）			記載者
水企	A 有効であった	評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ・増養殖事業を継続的に実施することで、水産資源の維持増大に有効な成果をあげることができた。（水産商工観光課長） ・農山漁村ホームステイ事業の各種交流事業を実施することができ、子どもと受入家庭の事後交流も一部で見られることから、有効であったと判断する。（企画課長補佐）
	B 概ね有効であった		
	C あまり有効でなかった		
	D 有効でなかった		

※施策の達成度、有効性の評価理由は、施策全体の評価であることから課長職若しくは課長補佐職が記載すること。

4. 施策の総合評価

水産業の振興	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)
	一次評価（担当課の評価）				
	B	B	B	B	
	二次評価（主管者会議の評価）				
	B	C	B	C	
	外部評価（まちづくり推進計画委員会による評価）				
	B	C	B	C	

評価の区分	<p>A KPIの達成状況、施策の達成度、有効性が認められ、大いに成果が得られた。</p> <p>B KPIが一部達成できなかったが、施策の達成度、有効性も高く、概ね成果が得られた。</p> <p>C KPIの達成状況には表れていないが、施策の達成に向けて事業を進めることができている。</p> <p>D KPI達成状況は芳しくなく、達成度が遅れている、もしくは有効性が低い。</p> <p>E KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは事業の達成度、有効性が見られない。</p>
-------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

付帯意見	年度	主管者会議の意見	まちづくり推進計画委員会の意見
	R3(2021)		
	R4(2022)	赤潮の影響が大きいとはいえ、成果指標2項目が前年度から後退していることを踏まえ、「C」評価が妥当と判断した。	
	R5(2023)		
	R6(2024)	事業は実施しているが、赤潮の影響などもあり成果があがっていない部分もあることなどを踏まえ、「C」評価が妥当と判断した。	
	R7(2025)		

<R6施策評価点検による政策等プロジェクト委員会の意見>

成果指標2項目において、実績値が下がったことから評価が後退しているが、漁獲量などは様々な状況によりその年々で大きく変動する。増養殖事業や資源維持に向けた取組自体は変わらず実施していることから、一次評価のB評価は妥当と判断する。

第6次広尾町まちづくり推進総合計画 前期（R3～R7） 施策評価シート

作成年月 R 7年 11月

基本目標	1	豊かな自然を生かした活力ある産業のまちづくり
政策	1	第1次産業の振興
施策	②	農業の振興

1. 施策における成果目標の達成状況

指標			年度区分	単位	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	前期 達成状況	
活動 指標	1	広尾産オリジナル製品の開発 件数【累計】	目標値	件	/	/	/	/	1	1	
			実績値	件	0	0	0	0	0	0	
	現状(R1)	中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	—	1	2	評価		c	c	c	c		
	2	畜産バイオマス関連施設整備 基数【累計】	目標値	基	/	/	/	/	1	1	
			実績値	基	0	0	0	0	0	0	
現状(R1)	中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
—	1	2	評価		d	d	e	e			
成果 指標	1	生乳生産量【単年】	目標値	トン	/	/	/	/	63,000	63,000	
			実績値	トン	65,865	65,475	61,391	67,452	0	0	
			現状(R1)	中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	104.5	103.9	97.4	107.1
	59,497	63,000	63,000	評価		a	a	b	a		
	2	新規就農者数【単年】	目標値	戸	/	/	/	/	3	3	
			実績値	戸	0	0	0	0	0	0	
現状(R1)			中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
1	3	5	評価		c	c	c	c			
特記事項	R3 (2021)		R4 (2022)		R5 (2023)		R6 (2024)		R7 (2025)		
活-1											
活-2					集中型処理施設整備は困難		集中型処理施設整備は困難				
成-1											
成-2											

※実績の内訳、根拠等について記載してください

評価の区分	a 目標達成に向け順調に進んでいる。 b 概ね順調に進んでおり、目標年次までに達成できる見込みである。 c 結果が表れていないが、目標達成に向け取り組んでいる。 d 進捗が遅れており、目標年次までに達成できない可能性がある。 e 取組内容や目標の見直しが必要な状況である。
-------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

2. 目標達成のための具体的な方法の達成状況等

＜短期的事業＞			
主な事業・取組	1. 第6次産業化(経営多角化)を支援する	R6(2024)年度実績額	0千円
細事業名Ⅰ		実	担当課 農林課
細事業名Ⅱ	起業家育成支援事業	実	1-2-③-29 担当課 水産商工観光課
細事業名Ⅲ		実	担当課
R6(2024)年度 実施内容	(Ⅱ)乳製品製造業1件に対し、補助金による支援を行った。		
進捗状況と課題	(Ⅰ)一部農家で自主的な取組(山本牧場の夢みるく)が見られたが、行政の支援や関わりは薄かった。今後、各関係機関と合意形成を行い、推進していく。【農政林務係】		

主な事業・取組	2. 酪農家の労働時間を短縮する取組を推進する			R6(2024)年度実績額	13,224千円
細事業名Ⅰ	農場派遣事業	実		担当課	農林課
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R6(2024)年度実施内容	農村活性化推進員として地域おこし協力隊3名を雇用し、農場派遣事業を継続した。また、協力隊1名が町内酪農家との間で第三者経営継承の合意がなされ、令和7年度からの新規就農に結び付けられた。				
進捗状況と課題	協力隊自らの技術習得と営農者の人手不足対策として農作業の補助を行うとともに、新規就農に向けての研修を行った。今後も協力隊自身の就農に向けて関係機関と連携して青年等就農計画等を作成する。【農政林務係】				

主な事業・取組	3. 農村環境の維持に向けて家族経営を支援する			R6(2024)年度実績額	60,492千円
細事業名Ⅰ	中山間地域等直接支払交付金事業	実	1-1-②-15	担当課	農林課
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R6(2024)年度実施内容	農業用明きょ草刈、不法投棄処理、農地維持管理、コントラクター組織利用促進、鳥獣被害対策、自衛防疫組織助成、新規就農者誘致取組、酪農ヘルパー利用促進など。				
進捗状況と課題	中山間地区の草地面積に対し1.5円/㎡を交付し、農村環境維持のための様々な対策を継続的に行う。【農政林務係】				

主な事業・取組	4. 多様な新規就農を支援する体制を構築する			R6(2024)年度実績額	3,696千円
細事業名Ⅰ	新規就農補助事業	実	1-1-②-17	担当課	農林課
細事業名Ⅱ	農業次世代人材投資補助事業	実	1-1-②-18	担当課	農林課
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R6(2024)年度実施内容	・令和6年度の新規就農者0名 ・新規就農者に対し、就農時から5年間の初期投資の軽減を実施している。(最長5年間)				
進捗状況と課題	本町で新規就農を希望する協力隊のサポートを行っており、町内酪農場1件と協力隊との間で第三者経営継承に向けた合意形成が図られた。JAと連携し、多様な新規就農者を受け入れる体制を構築する。【農政林務係】				

主な事業・取組	5. 家畜ふん尿を資源として有効活用する			R6(2024)年度実績額	0千円
細事業名Ⅰ		実		担当課	農林課
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R6(2024)年度実施内容	※未実施				
進捗状況と課題	多数の農家が参加する集中型の処理施設を想定していたが、近年のヨーネ病の発生により困難な状況となっている。JAなど関係機関と情報共有等を行い、個別型処理施設の可能性を模索する。【農政林務係】				

<継続的事业>					
主な事業・取組	1. 将来を担う農業者の確保を図る			R6(2024)年度実績額	1,426千円
細事業名Ⅰ	農活チャレンジ応援事業	実		担当課	農林課
細事業名Ⅱ	農林人材育成支援センター整備事業	実	1-1-②-39	担当課	農林課
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R6(2024)年度実施内容	酪農業に興味関心のある方に町内酪農場で農業体験をしていただき、労働力や後継者の確保に務めるとともに、酪農に関する情報を広く発信した。(令和6年度 計33名受入)				
進捗状況と課題	酪農業に興味がある者が増えてきているが、ステップ2の実践研修、ステップ3の就農研修に進む人がおらず、農協とも連携を図り、地域おこし協力体制度も活用しながら就農までの一貫した支援体制を引き続き構築する。【農政林務係】				

主な事業・取組	2. 農業所得の安定的な拡大を図る			R6(2024)年度実績額	1,098千円
細事業名Ⅰ	農政推進協議会負担金事業	実		担当課	農林課
細事業名Ⅱ	農業生産資材等高騰対策支援事業	実		担当課	農林課
細事業名Ⅲ	農業緊急支援資金利子補給	実		担当課	農林課
R6(2024)年度実施内容	広尾町農政推進協議会による農業の振興、伝染病予防及び、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した乳製品消費拡大運動を実施した。				
進捗状況と課題	生産資材高騰や生乳の生産抑制の影響で農業経営は厳しさを増しており、今後もJAや関係機関と連携し、営農継続支援や農業の振興、衛生対策、消費拡大運動等を実施して農業所得の安定に努める。【農政林務係】				

主な事業・取組	3. 農業生産基盤の整備と強化を図る			R6(2024)年度実績額	6,039千円
細事業名Ⅰ	公社営草地畜産基盤整備事業	実		担当課	農林課
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R6(2024)年度実施内容	受益者 3件、草地整備改良(増反) 19.85ha、暗渠排水 0ha、草地造成 0ha				
進捗状況と課題	令和4年～7年度で実施。【農政林務係】				

主な事業・取組	4. 安心安全な農畜産物の生産と販売促進を図る			R6(2024)年度実績額	890千円
細事業名Ⅰ	乳質改善対策事業	実		担当課	農林課
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R6(2024)年度実施内容	乳質検査等に補助を行い、安全で安心な生乳を出荷した。 牛舎消毒事業 77戸、乳房炎撲滅プロジェクト 5戸、バルクスクリーニング検査 61戸				
進捗状況と課題	JAと連携し、安全安心な飼料づくりや生乳生産を促進する。【農政林務係】				

主な事業・取組	5. 家畜ふん尿の適正処理など、環境に配慮した持続可能な資源循環型農業を確立する			R6(2024)年度実績額	0千円
細事業名Ⅰ	茂寄団地圃場町有草地更新業務	実		担当課	農林課
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R6(2024)年度実施内容	ライムギを使用した環境配慮型の輪作による草地更新を令和4年から令和6年にかけて試験的に実施する。 令和5年度はライムギを播種し、令和6年度は牧草を播種した。				
進捗状況と課題	令和5年度にライムギを播種、緑肥として鋤き込み、令和6年度は牧草を播種した。【農政林務係】				

主な事業・取組	6. 有害鳥獣による農業被害の防止に向けて効果的な対策を講じる			R6(2024)年度実績額	13,844千円
細事業名Ⅰ	鳥獣被害防止対策事業負担金事業	実	1-1-②-16	担当課	農林課
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R6(2024)年度実施内容	エゾシカやヒグマによる農業被害を防止するため、諸対策を実施した。				
進捗状況と課題	北海道猟友会広尾支部やJAと連携し、有効な鳥獣被害の防止対策を模索し推進していく。【農政林務係】				

主な事業・取組	7. 漁村の価値を再認識し、都市部の住民や次代を担う子どもたちにその魅力を伝えるため、子ども農山漁村ホームステイ事業を実施する			R6(2024)年度実績額	4,976千円
細事業名Ⅰ	子ども農山漁村ホームステイ事業	実	5-2-②-15	担当課	企画課
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R6(2024)年度実施内容	東京都荒川区立尾久西小学校の5年生54人を広尾町ホームステイ受入協議会の漁家、農家が受け入れた。(実施日: 8月27日(火)~29日(木))また、広尾町内の小学生と事前オンライン交流やホームステイ中の交流事業を実施した。				
進捗状況と課題	事前オンライン交流や事後の尾久西小学校への訪問、ハロウィンかぼちゃの送付など受入以外でも各種交流事業を実施した。今後も引き続き事業を実施していくが、受入人数が増える見通しなので、受入家庭の確保が課題となっている。また、1次産業でない受入家庭が増えており、事業の目的の一つである地域資源の価値や生業への自信や誇りを再認識することからは離れつつある。【企画防災係】				

3. 施策の評価（担当課における評価）

Ⅰ: 施策の達成度（まちの現状と課題を解決するため、目指す方向に施策が進んでいるか）				記載者	
	A 想定以上に進んでいる	評価理由			
企	B 想定どおりに進んでいる				
農	C 少し遅れている				
	D 大幅に遅れている				
<ul style="list-style-type: none"> ・国際情勢の影響が物価高騰という形で影響を及ぼすなど、農業にとって厳しい一年であった。(農林課長) ・農山漁村ホームステイ事業の子どもを受入を行うことができた。また、関連する各種交流事業も実施できた。(企画課長補佐) 					

Ⅱ: 施策の有効性（施策を推進するにあたって、事業の構成や規模、成果は有効であったか）				記載者	
	A 有効であった	評価理由			
農企	B 概ね有効であった				
	C あまり有効でなかった				
	D 有効でなかった				
<ul style="list-style-type: none"> ・物価高騰による厳しい情勢であった。粗生産量は増加し、農業施策は概ね有効であったと評価できる。(農林課長) ・農山漁村ホームステイ事業の各種交流事業を実施することができ、子どもと受入家庭の事後交流も一部で見られることから、有効であったと判断する。(企画課長補佐) 					

※施策の達成度、有効性の評価理由は、施策全体の評価であることから課長職若しくは課長補佐職が記載すること。

4. 施策の総合評価

		R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)
農 業 の 振 興	1	一次評価（担当課の評価）				
	1	C	C	C	C	
	2	二次評価（主管者会議の評価）				
	2	C	C	C	C	
		外部評価（まちづくり推進計画委員会による評価）				
		C	C	C	C	

評価の区分

- A KPIの達成状況、施策の達成度、有効性が認められ、大いに成果が得られた。
- B KPIが一部達成できなかったが、施策の達成度、有効性も高く、概ね成果が得られた。
- C KPIの達成状況には表れていないが、施策の達成に向けて事業を進めることができています。
- D KPI達成状況は芳しくなく、達成度が遅れている、もしくは有効性が低い。
- E KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは事業の達成度、有効性が見られない。

付 帯 意 見	年度	主管者会議の意見	まちづくり推進計画委員会の意見
	R3(2021)		
	R4(2022)		
	R5(2023)		
	R6(2024)		
	R7(2025)		

第6次広尾町まちづくり推進総合計画 前期（R3～R7） 施策評価シート

作成年月 R 7年 11月

基本目標	1	豊かな自然を生かした活力ある産業のまちづくり
政 策	1	第1次産業の振興
施 策	③	林業の振興

1. 施策における成果目標の達成状況

指 標			年度 区分	単位	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	前期 達成状況		
活動 指標	1	町民の森づくり事業への参加者数【単年】	目標値	人					20	20		
			実績値	人	38	54	156	129	0	0		
		現状(R1)	中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	190.0	270.0	780.0	645.0	0.0	0.0
		—	20	50	評 価		a	a	a	a		
	2	木材製材加工場の誘致	目標値	—						誘致実現	誘致実現	
			実績値	—	—	—	—	—	0	0		
		現状(R1)	中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	—	—	—	—	—	
		—	誘致実現	流通拡大	評 価		c	d	d	e		
	3	国有林を除く森林整備面積 (間伐等)【単年】	目標値	ha						50	50	
			実績値	ha	49.02	43	55.71	51.44	0	0		
		現状(R1)	中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	98.0	86.0	111.4	102.9	0.0	0.0
		50	50	50	評 価		b	c	a	a		
4	伐採跡地を含む無立木地面積	目標値	ha						300	300		
		実績値	ha	400	380	371	371	0	0			
	現状(R1)	中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	50.0	60.0	64.5	64.5			
	500	300	100	評 価		b	b	c	c			
成果 指標	1	国有林を除く森林整備率(間伐等)	目標値	%					45	45		
			実績値	%	30	32	34	36	0	0		
		現状(R1)	中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	66.7	71.1	75.6	80.0	0.0	0.0
	25	45	70	評 価		b	b	c	c			
	2	伐採跡地を含む無立木地の 解消率	目標値	%						30	30	
			実績値	%	20	24	24	24	0	0		
現状(R1)		中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	66.7	80.0	80.0	80.0	0.0	0.0	
20	30	40	評 価		c	b	c	c				
特記事項	R3 (2021)		R4 (2022)		R5 (2023)		R6 (2024)		R7 (2025)			
活-1	木育フェスタ参加者数38名		木育フェスタ参加者数54名		木育フェスタ参加者数156名		木育フェスタ参加者数129名					
活-2												
活-3												
活-4												
成-1												
成-2												

※実績の内訳、根拠等について記載してください

評価の区分

- a 目標達成に向け順調に進んでいる。
- b 概ね順調に進んでおり、目標年次までに達成できる見込みである。
- c 結果が表れていないが、目標達成に向け取り組んでいる。
- d 進捗が遅れており、目標年次までに達成できない可能性がある。
- e 取組内容や目標の見直しが必要な状況である。

2. 目標達成のための具体的な方法の達成状況等

＜短期的事業＞					
主な事業・取組	1. 木育事業「町民の森づくり」を実施する			R6(2024)年度実績額	2,739千円
細事業名Ⅰ	森林環境振興事業(木づかい推進事業)	実	1-1-③-23	担当課	農林課
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R6(2024)年度実施内容	地域おこし協力隊が中心となり、ウッドイルミネーションの製作を通じた木育イベントを展開した。令和6年度は商店等へ設置できるタイプも増産し、大丸山森林公園の集客アップを図った。				
進捗状況と課題	令和7年度も引き続き木育イベントを開催予定である活用と町内外の周知を図る。また、森林整備推進協議会と連携し植樹祭を開催する。【農政林務係】				
主な事業・取組	2. 木材加工製品(集成材)の生産と流通拡大を図る			R6(2024)年度実績額	0千円
細事業名Ⅰ		実		担当課	農林課
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R6(2024)年度実施内容	十勝港と京浜地区を結ぶ定期航路が開設されたことから、コンテナを活用した木材流通について検討を実施した。集成材工場の誘致活動は大手集成材企業が釧路市に進出する予定だったことから実施なし。				
進捗状況と課題	港湾課や森林組合、関係機関と連携しコンテナを活用した木材流通の拡大を図ることとしたい。【農政林務係】				
＜継続的事業＞					
主な事業・取組	1. 森林整備の推進を図る			R6(2024)年度実績額	41,722千円
細事業名Ⅰ	町有林管理事業	実	—	担当課	農林課
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R6(2024)年度実施内容	町有林39.41haの間伐および保育間伐を実施。その他、森林環境譲与税を活用して森林整備、作業路網整備を補助した。				
進捗状況と課題	毎年、同程度の間伐を予定しているほか、伐期が訪れる森林の皆伐を進め、安定的な原木供給を図るとともに、適切に更新することで森林の機能維持を図る。【農政林務係】				
主な事業・取組	2. 無立木地の解消に努める			R6(2024)年度実績額	0千円
細事業名Ⅰ		実		担当課	農林課
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R6(2024)年度実施内容	施業可能箇所の洗い出しを行い、次年度の町有林施業地を選定した。				
進捗状況と課題	無立木地に限らず、森林経営計画未策定森林の解消も課題である。町有林保安林の施業を予定している。その他、一般民有林については森林組合、森林室と連携し、訪問などで無立木地等の森林経営計画策定を図る。【農政林務係】				
主な事業・取組	3. 保育施設などに木のおもちゃ(森の輪)を贈呈し、木育の推進を図る			R6(2024)年度実績額	30千円
細事業名Ⅰ	森林環境振興事業(森の輪配布事業)	実	1-1-③-23	担当課	農林課
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R6(2024)年度実施内容	令和6年度は森の輪を23個配布した。負担金によって森の輪の周知・広報活動等が図られた。				
進捗状況と課題	森の輪については順調に毎年配布している。そのほか、木育につながる玩具の制作を集いの杜で地域おこし協力隊が中心となって実施した。【農政林務係】				

主な事業・取組	4. 林業の担い手確保に向けて関係団体や各種学校と連携して取り組む			R6(2024)年度実績額	0千円
細事業名Ⅰ		実		担当課	農林課
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R6(2024)年度実施内容	地域おこし協力隊(森林整備推進員)を採用し、林業人材の確保を図った。また、町森林整備協議会での北の森づくり専門学院等への視察を実施。関連町内林業事業体へ十勝地域林業担い手確保推進協議会等の取り組みへの参加を呼びかけた。				
進捗状況と課題	引き続き、町内林業事業体へ担い手確保の取り組みへの積極的な参加を呼びかけるとともに町森林整備協議会での独自の取り組みを検討する。【農政林務係】				

主な事業・取組	5. 鳥獣被害による林業被害の防止に向けて効果的な対策を講じる			R6(2024)年度実績額	12,698千円
細事業名Ⅰ	鳥獣被害防止対策事業負担金事業	実		担当課	農林課
細事業名Ⅱ	野ねずみ駆除剤散布事業	実		担当課	農林課
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R6(2024)年度実施内容	エゾシカやヒグマ、野ねずみによる林業被害を防止するため、諸対策を実施した。				
進捗状況と課題	北海道猟友会広尾支部やJA、森林組合と連携し、被害防止計画の見直しや狩猟期間延長の意見提出など、有効な鳥獣被害の防止対策を模索し推進していく。【農政林務係】				

3. 施策の評価（担当課における評価）

Ⅰ：施策の達成度（まちの現状と課題を解決するため、目指す方向に施策が進んでいるか）				記載者	農林課長
	A 想定以上に進んでいる	評価理由	関係機関と連携し、各施策を進めているが、流通拡大施策などは進捗状況が鈍化している。		
	B 想定どおりに進んでいる				
○	C 少し遅れている				
	D 大幅に遅れている				

Ⅱ：施策の有効性（施策を推進するにあたって、事業の構成や規模、成果は有効であったか）				記載者	農林課長
○	A 有効であった	評価理由	森林整備事業や廃校再生プロジェクトの推進など多方面から木材産業の活性化を推進している。森林環境譲与税の用途についても林業事業体の意見を反映させながら事業を構築しており、一定の効果・評価を得ており施策は有効であったと評価できる。		
	B 概ね有効であった				
	C あまり有効でなかった				
	D 有効でなかった				

※施策の達成度、有効性の評価理由は、施策全体の評価であることから課長職若しくは課長補佐職が記載すること。

4. 施策の総合評価

		R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)
林業の振興	1	一次評価（担当課の評価）				
	1	B	B	B	C	
	3	二次評価（主管者会議の評価）				
	3	B	B	C	C	
	3	外部評価（まちづくり推進計画委員会による評価）				
	3	B	B	C	C	

評価の区分

- A KPIの達成状況、施策の達成度、有効性が認められ、大いに成果が得られた。
- B KPIが一部達成できなかったが、施策の達成度、有効性も高く、概ね成果が得られた。
- C KPIの達成状況には表れていないが、施策の達成に向けて事業を進めることができている。
- D KPI達成状況は芳しくなく、達成度が遅れている、もしくは有効性が低い。
- E KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは事業の達成度、有効性が見られない。

付 帯 意 見	年 度	主管者会議の意見	まちづくり推進計画委員会の意見
	R3(2021)		
	R4(2022)		
	R5(2023)	成果目標の森林整備率や無立木地解消率が停滞している。また、林業の担い手確保も成果が出ていない状況であるため、C評価とする。	
	R6(2024)		
	R7(2025)		

第6次広尾町まちづくり推進総合計画 前期（R3～R7） 施策評価シート

作成年月 R 7年 11月

基本目標	1	豊かな自然を生かした活力ある産業のまちづくり
政策	2	商工業・観光の振興
施策	①	商工業の振興

1. 施策における成果目標の達成状況

指標			年度区分	単位	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	前期 達成状況	
活動 指標	1	新たな特産品として商品化(ブランド化)した商品の種類【累計】	目標値	種類	/	/	/	/	5	5	
			実績値	種類	0	0	0	4	0	0	
	現状(R1)	中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	0.0	0.0	0.0	80.0	0.0	0.0
	—	5	10	評価		c	c	c	b		
	2	買い物支援サービスの構築	目標値	—	/	/	/	/	着手済・試行中	着手済・試行中	
			実績値	—	着手・試行中	着手・試行中	一部実施	一部実施	0	0	
現状(R1)	中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	—	100.0	—	—	—	—	
—	着手済・試行中	構築済	評価		b	b	b	b			
成果 指標	1	年間商品販売額(経済センサス)【単年】	目標値	百万円	8,350	/	/	/	8,000	8,000	
			実績値	百万円	11,327				0	0	
	現状(H28)	中間(R3)	最終(R8)	達成率	%	141.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	8,348	8,350	8,000	評価		a					
	2	年間製造品等出荷額(経済センサス)【単年】	目標値	百万円	10,000	/	/	/	11,000	11,000	
			実績値	百万円	12,333				0	0	
	現状(H28)	中間(R3)	最終(R8)	達成率	%	112.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	9,228	10,000	11,000	評価		a					
	3	サンタクラブカードの町民保有率	目標値	%	/	/	/	/	60	60	
			実績値	%	57.9	65.8	68.1	75.1	0	0	
	現状(R1)	中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	96.5	109.7	113.5	125.2	0.0	0.0
	51.3	60	70	評価		b	a	a	a		
	4	個人版ふるさと納税寄附額【単年】	目標値	百万円	/	/	/	/	150	150	
			実績値	百万円	128	93	71	52	0	0	
現状(R1)	中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	85.3	62.0	47.3	34.7	0.0	0.0	
97	150	200	評価		b	c	c	c			
特記事項	R3 (2021)		R4 (2022)		R5 (2023)		R6 (2024)		R7 (2025)		
活-1	PJチーム設立に向けた協力隊配置及び予算措置準備		PJチーム設立し、会議の開催、原案の検討・作成を実施		新たな町特産品のレシピを開発。PJ会議や町観光協会の協力により町民への公開、試験販売を実施		十勝の塩、星屑昆布、秋サケミニチュア木箱、噛む噛む昆布				
活-2	高齢者外出支援交通費助成事業の試験実施		高齢者外出支援交通費助成事業の試験実施		高齢者外出支援交通費助成事業を本格実施		高齢者外出支援交通費助成事業を本格実施				
成-1	R4年に数値確定		R3の確定値		R7年に数値確定						
成-2	R4年に数値確定		R3の確定値		R7年に数値確定						
成-3	町民保有者3,617人／人口6,250人		町民保有者4,185人／人口6,359人		町民保有者4,028人／人口5,914人		町民保有者4,354人／人口5,795人				
成-4	7,475件、128,629千円		5,284件、93,496千円		3,793件、71,675千円		2,795件、52,051千円				

※実績の内訳、根拠等について記載してください

評価の区分	<p>a 目標達成に向け順調に進んでいる。</p> <p>b 概ね順調に進んでおり、目標年次までに達成できる見込みである。</p> <p>c 結果が表れていないが、目標達成に向け取り組んでいる。</p> <p>d 進捗が遅れており、目標年次までに達成できない可能性がある。</p> <p>e 取組内容や目標の見直しが必要な状況である。</p>
-------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

2. 目標達成のための具体的な方法の達成状況等

＜短期的事業＞						
主な事業・取組	1. 担い手(経営者、従業員)の育成・確保に努める			R6(2024)年度実績額	13,350千円	
細事業名Ⅰ	商工振興補助事業	実	1-2-①-25	担当課	水産商工観光課	
細事業名Ⅱ	起業家育成支援事業	実	1-2-③-29	担当課	水産商工観光課	
細事業名Ⅲ		実		担当課		
R6(2024)年度実施内容	(Ⅰ)商工会で行う経営改善普及事業などに対して補助金を交付し、地元事業所の安定雇用や担い手育成を行っている。 (Ⅱ)乳製品製造業1件と新商品開発1件の申請に対し、補助金交付による支援を行った。					
進捗状況と課題	(Ⅰ)商工会による経営改善普及事業などへの支援は継続的に取り組む。広尾版ハローワーク事業により町内外へ求人情報等を発信した。【商工観光係】 (Ⅱ)令和6年度は起業1件と新商品開発1件の実績があった。徐々に本制度が認知され、町内における起業の動きがみえつつある。【商工観光係】					
主な事業・取組	2. 集客に向けた情報発信を強化する			R6(2024)年度実績額	12,102千円	
細事業名Ⅰ	商工振興補助事業	実	1-2-①-25	担当課	水産商工観光課	
細事業名Ⅱ		実		担当課		
細事業名Ⅲ		実		担当課		
R6(2024)年度実施内容	商工会で行う地域振興事業に対して補助金を交付し、地元から情報発信などを行っている。					
進捗状況と課題	商工会による地域振興事業への支援は継続的に取り組む。地域おこし協力隊の任用により、広尾版ハローワーク事業は紙面及びウェブを継続して実施している。【商工観光係】					
主な事業・取組	3. サービスや商品の特色や魅力を高める			R6(2024)年度実績額	12,102千円	
細事業名Ⅰ	商工振興補助事業	実	1-2-①-25	担当課	水産商工観光課	
細事業名Ⅱ		実		担当課		
細事業名Ⅲ		実		担当課		
R6(2024)年度実施内容	商工会で行う地域振興事業に対して補助金を交付し、事業所に対する商品開発やサービス向上の指導を行っている。					
進捗状況と課題	商工会による地域振興事業への支援は継続的に取り組む。また「広尾の食資源」開発、伝承プロジェクトにより各業界が連携した特産品づくりなどに取り組んでいく。【商工観光係】					
主な事業・取組	4. 買い物便利事業(買い物支援サービス)の実施を検討する			R6(2024)年度実績額	21,847千円	
細事業名Ⅰ	商工振興補助事業	実	1-2-①-25	担当課	水産商工観光課	
細事業名Ⅱ	高齢者外出支援交通費助成事業	実	4-1-④-50	担当課	保健福祉課	
細事業名Ⅲ		実		担当課		
R6(2024)年度実施内容	(Ⅰ)商工会で行う地域振興事業に対して補助金を交付し、買い物の利便性を高める取組を行っている。 (Ⅱ)75歳以上の高齢者を対象に申請者に対し、バス・タクシーで利用できる助成券を配布					
進捗状況と課題	(Ⅰ)買い物弱者への支援は商工業や経済的観点からも必要と思われ、町から商工会への財政的支援は継続的に行っていく。【商工観光係】 (Ⅱ)対象者1380人のうち申請者1045人で申請率75.7%、助成券交付額21,699,800円、利用額8,999,500円で利用率41.5%であった。申請者は順調に伸びているが、利用率を上げる取組が必要である。【福祉係】					

＜継続的事业＞					
主な事業・取組	1. 「サンタクラブカード」の利用促進を図る			R6(2024)年度実績額	12,102千円
細事業名Ⅰ	商工振興事業	実	1-2-①-24	担当課	水産商工観光課
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R6(2024)年度実施内容	商工会に対し経営改善普及事業職員設置の観点から補助金を交付し、サンタクラブカードの利用促進を継続的に行っている。				
進捗状況と課題	サンタクラブカードの機器更新に伴い、地域ポイントアプリの導入に向け準備している【商工観光係】				

主な事業・取組	2. 各事業所の経営の改善・安定化に努める			R6(2024)年度実績額	13,891千円
細事業名Ⅰ	商工振興事業	実	1-2-①-24	担当課	水産商工観光課
細事業名Ⅱ	地域振興プレミアム付商品券発行事業	実		担当課	水産商工観光課
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R6(2024)年度実施内容	物価高騰に伴う経営への影響に鑑み、国の地方創生臨時交付金を活用した各種支援事業を実施し、町内事業所の安定経営を図った。				
進捗状況と課題	物価高騰対策は国の交付金を活用した助成事業を継続して行っていく。【商工観光係】				

3. 施策の評価（担当課における評価）

I：施策の達成度（まちの現状と課題を解決するため、目指す方向に施策が進んでいるか）

			記載者
商福	A 想定以上に進んでいる	評価理由	<ul style="list-style-type: none"> 概ね想定どおり進んでいる。（水産商工観光課長） 高齢者外出支援交通費助成事業について、令和5年度より本格事業実施。（保健福祉課長）
	B 想定どおりに進んでいる		
	C 少し遅れている		
	D 大幅に遅れている		

II：施策の有効性（施策を推進するにあたって、事業の構成や規模、成果は有効であったか）

			記載者
商福	A 有効であった	評価理由	<ul style="list-style-type: none"> 施策は概ね有効であったが、漁業不振などの理由によりふるさと納税寄附額が減少した。（水産商工観光課長） 申請率75.7%とある程度の数字であり、利用者、事業所からも有効的という声があった。（保健福祉課長）
	B 概ね有効であった		
	C あまり有効でなかった		
	D 有効でなかった		

※施策の達成度、有効性の評価理由は、施策全体の評価であることから課長職若しくは課長補佐職が記載すること。

4. 施策の総合評価

商 工 業 の 振 興	1 ・ 2 ・ 1	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	
		一次評価（担当課の評価）					
		C	B	B	B		
		二次評価（主管者会議の評価）					
		C	B	B	B		
		外部評価（まちづくり推進計画委員会による評価）					
C	B	B	B				

評価の区分

- A KPIの達成状況、施策の達成度、有効性が認められ、大いに成果が得られた。
- B KPIが一部達成できなかったが、施策の達成度、有効性も高く、概ね成果が得られた。
- C KPIの達成状況には表れていないが、施策の達成に向けて事業を進めることができている。
- D KPI達成状況は芳しくなく、達成度が遅れている、もしくは有効性が低い。
- E KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは事業の達成度、有効性が見られない。

付 帯 意 見	年 度	主管者会議の意見	まちづくり推進計画委員会の意見
	R3(2021)		
	R4(2022)		
	R5(2023)		
	R6(2024)		
	R7(2025)		

第6次広尾町まちづくり推進総合計画 前期（R3～R7） 施策評価シート

作成年月 R 7年 11月

基本目標	1	豊かな自然を生かした活力ある産業のまちづくり
政策	2	商工業・観光の振興
施策	②	観光・サンタランドの振興

1. 施策における成果目標の達成状況

指標			年度区分	単位	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	前期 達成状況	
活動 指標	1	観光協会ウェブサイトの構築	目標値	—	/	/	/	/	構築済	構築済	
			実績値	—	構築済	構築済	構築済	構築済	0		
	現状(R1)	中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	—	—	—	—		
	—	構築済	構築済	評価		a	a	a	a		
	2	サンタランドを盛り上げる新たな民間団体の設立	目標値	—	/	/	/	/	設立済	設立済	
			実績値	—	0	0	0	0	0		
	現状(R1)	中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	—	—	—	—		
	—	設立済	設立済	評価		c	c	c	c		
	3	体験型観光プログラムの数【累計】	目標値	—	/	/	/	/	15	15	
			実績値	—	10	35	25	25	0		
	現状(R1)	中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	66.7	233.3	166.7	166.7	0.0	0.0
	7	15	20	評価		b	a	a	a		
成果 指標	1	サンタメール(サンタカード)申込み通数【単年】	目標値	通	/	/	/	/	17,000	17,000	
			実績値	通	23,392	18,174	19,764	15,466	0		
	現状(R1)	中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	137.6	106.9	116.3	91.0	0.0	0.0
	15,326	17,000	20,000	評価		a	a	a	b		
	2	サンタクローズ展応募点数【単年】	目標値	点	R2事業終了のため、評価の対象外とする						
			実績値	点							
	現状(R1)	中間(R7)	最終(R12)	達成率	%						
	30	40	50	評価							
	3	大丸山森林公園への年間来場者数【単年】	目標値	人	/	/	/	/	30,000	30,000	
			実績値	人	17,198	31,974	32,060	49,207	0		
	現状(R1)	中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	57.3	106.6	106.9	164.0	0.0	0.0
	26,179	30,000	30,000	評価		c	a	a	a		
特記事項	R3 (2021)		R4 (2022)		R5 (2023)		R6 (2024)		R7 (2025)		
活-1	R2年9月30日開設										
活-2											
活-3	ピロトゥーリズム推進協議会実績	地域おこし協力隊によるプログラム造成実績		地域おこし協力隊によるプログラム造成実績		ピロトゥーリズム推進協議会及び観光協会補助事業による実績					
成-1	6,644件、23,392通		5,209件、18,174通		5,593件、19,476通		5,967件、15,466通				
成-2	R2事業終了		R2事業終了		R2事業終了		R2事業終了				
成-3	新型コロナの影響による減少		R3年10月リニューアルによる増加		コロナ明け来場者の増加		サンタランド認定40周年記念事業による増加				

※実績の内訳、根拠等について記載してください

評価の区分	<ul style="list-style-type: none"> a 目標達成に向け順調に進んでいる。 b 概ね順調に進んでおり、目標年次までに達成できる見込みである。 c 結果が表れていないが、目標達成に向け取り組んでいる。 d 進捗が遅れており、目標年次までに達成できない可能性がある。 e 取組内容や目標の見直しが必要な状況である。
-------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

2. 目標達成のための具体的な方法の達成状況等

＜短期的事業＞					
主な事業・取組	1. 情報発信力を強化する			R6(2024)年度実績額	27,054千円
細事業名Ⅰ	観光情報発信・観光町おこし事業	実	1-2-②-26	担当課	水産商工観光課
細事業名Ⅱ	観光振興事業	実	1-2-②-27	担当課	水産商工観光課
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R6(2024)年度実施内容	観光協会ホームページ及びサンタランドホームページによる各種PR。またSNSによるPRを実施した。また、各種イベントや観光案内所でのPR。さらに日高3町との連携事業により町外向けの情報発信を行った。				
進捗状況と課題	各種イベント情報の発信や観光協会SNSフォロワーキャンペーンを実施しなかったことによりフォロワーが減少した。【商工観光係】				

主な事業・取組	2. 体験型観光を充実させる			R6(2024)年度実績額	2,500千円
細事業名Ⅰ	体験型観光推進事業	実	1-2-②-27	担当課	水産商工観光課
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R6(2024)年度実施内容	観光協会が補助事業を活用し、ピロトゥーリズム推進協議会と連携しながら体験型ツアー造成に取り組んだ。				
進捗状況と課題	補助金を活用しながら団体と協力し、町観光協会としても体験型観光を推進していく。【商工観光係】				

主な事業・取組	3. サンタランドを盛り上げる民間団体を育成する			R6(2024)年度実績額	0千円
細事業名Ⅰ		実		担当課	
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R6(2024)年度実施内容	新規団体の結成なし				
進捗状況と課題	「サンタランド」の魅力向上プロジェクトを進める過程で団体の設立を検討していく。【サンタランド係】				

＜継続的事业＞					
主な事業・取組	1. 毛がにまつりなど、特産品をメインとした食のイベントを開催する			R6(2024)年度実績額	2,772千円
細事業名Ⅰ	第53回広尾毛がにまつり(観光振興事業)	実	1-2-②-27	担当課	水産商工観光課
細事業名Ⅱ	観光情報発信・観光町おこし事業	実	1-2-②-26	担当課	水産商工観光課
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R6(2024)年度実施内容	「広尾まんぷくまつり」として実施したが、一部毛がに釜茹で販売を実施する店舗があった。				
進捗状況と課題	一部毛がに釜茹で販売が実施できたこともあり、来場者は1万人であった。次年度も毛がにまつりとしての実施を目指す。【商工観光係】				

主な事業・取組	2. 十勝港海上花火大会など、町外からの大勢の集客を見込むことができるイベントを開催する			R6(2024)年度実績額	12,571千円
細事業名Ⅰ	第67回十勝港まつり	実	1-2-②-27	担当課	水産商工観光課
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R6(2024)年度実施内容	コロナ明け通常開催となり1万5千人の来場があり好評だった。				
進捗状況と課題	通常開催となり来場者もコロナ前水準に戻った。次年度も継続実施する。【商工観光係】				

主な事業・取組	3. 十勝シーニックバイウェイ南十勝夢街道を通じての情報発信に力を入れる	R6(2024)年度実績額	0千円
細事業名Ⅰ		実	担当課
細事業名Ⅱ		実	担当課
細事業名Ⅲ		実	担当課
R6(2024)年度実施内容	大丸山森林公園サンタの家においてシーニックバイウェイを活用した情報発信を行っている。		
進捗状況と課題	大丸山森林公園におけるシーニックゾーンの発信のほか、冊子「シーニックバイウェイ北海道」へのサンタカードPR広告を掲載し、広尾サンタランドの認知度を広めていく。【商工観光係】		

3. 施策の評価（担当課における評価）

Ⅰ：施策の達成度（まちの現状と課題を解決するため、目指す方向に施策が進んでいるか）		記載者	水産商工観光課長
	A 想定以上に進んでいる	評価理由	各種イベントが通常実施できた事や地域おこし協力隊による体験型観光の推進効果が表れている。
○	B 想定どおりに進んでいる		
	C 少し遅れている		
	D 大幅に遅れている		

Ⅱ：施策の有効性（施策を推進するにあたって、事業の構成や規模、成果は有効であったか）		記載者	水産商工観光課長
	A 有効であった	評価理由	サンタカードの申込み件数が微増。また大丸山森林公園の来場者も増加している。体験型観光参加者や各種イベントも来場者数は概ね良好だった。
○	B 概ね有効であった		
	C あまり有効でなかった		
	D 有効でなかった		

※施策の達成度、有効性の評価理由は、施策全体の評価であることから課長職若しくは課長補佐職が記載すること。

4. 施策の総合評価

観光・サンの振興	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	
	一次評価（担当課の評価）					
	C	B	B	B		
	二次評価（主管者会議の評価）					
	C	B	B	B		
	外部評価（まちづくり推進計画委員会による評価）					
C	B	B	B			

評価の区分

- A KPIの達成状況、施策の達成度、有効性が認められ、大いに成果が得られた。
- B KPIが一部達成できなかったが、施策の達成度、有効性も高く、概ね成果が得られた。
- C KPIの達成状況には表れていないが、施策の達成に向けて事業を進めることができています。
- D KPI達成状況は芳しくなく、達成度が遅れている、もしくは有効性が低い。
- E KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは事業の達成度、有効性が見られない。

付帯意見	年度	主管者会議の意見	まちづくり推進計画委員会の意見
	R3(2021)		
	R4(2022)		
	R5(2023)		
	R6(2024)		
	R7(2025)		

第6次広尾町まちづくり推進総合計画 前期（R3～R7） 施策評価シート

作成年月 R 7年 11月

基本目標	1	豊かな自然を生かした活力ある産業のまちづくり
政策	2	商工業・観光の振興
施策	③	企業誘致・起業支援

1. 施策における成果目標の達成状況

指標			年度区分	単位	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	前期 達成状況
活動 指標	1	空き地・空き店舗・空き家等情報データベースの構築	目標値	—					着手済	着手済
			実績値	—	未着手	未着手	未着手	未着手		0
	現状(R1)	中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	—	—	—	—	
	—	着手済	構築済	評価		c	c	c	c	
成果 指標	1	進出企業数【累計】	目標値	件					1	1
			実績値	件	0	0	0	0	0	0
			現状(R1)	中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	0.0	0.0	0.0
	—	1	2	評価		c	c	c	c	
	2	新規起業件数【単年】	目標値	件					3	3
			実績値	件	1	2	1	1	0	0
現状(R1)			中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	33.3	66.7	33.3	33.3
—	3	3	評価		c	b	c	c		
特記事項	R3 (2021)		R4 (2022)		R5 (2023)		R6 (2024)		R7 (2025)	
活-1										
成-1										
成-2	木工所1件		飲食業1件、林業1件		教育、学習支援業1件		乳製品製造業1件			

※実績の内訳、根拠等について記載してください

評価の区分	<ul style="list-style-type: none"> a 目標達成に向け順調に進んでいる。 b 概ね順調に進んでおり、目標年次までに達成できる見込みである。 c 結果が表れていないが、目標達成に向け取り組んでいる。 d 進捗が遅れており、目標年次までに達成できない可能性がある。 e 取組内容や目標の見直しが必要な状況である。
-------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

2. 目標達成のための具体的な方法の達成状況等

＜短期的事業＞			
主な事業・取組	1. 空き地や空き店舗、空き家などの情報データベースを構築する	R6(2024)年度実績額	4,427千円
細事業名Ⅰ	空き家バンク事業	実	担当課 企画課
細事業名Ⅱ		実	担当課
細事業名Ⅲ		実	担当課
R6(2024)年度 実施内容	令和6年4月に空き家の利活用を任務とする地域おこし協力隊を1名任用した。登録の事務手続きを簡素化し、相談体制を整え、年度内に空き家バンクへ3件の登録があった。【企画防災係】		
進捗状況と課題	相談件数は順調に増えているが、民間の不動産事業者に登録されている物件が空き家バンクへの登録申請があった場合の取り扱いが課題となっている。【企画防災係】		

主な事業・取組	2. 地域に根付く新しい事業、稼げる事業を創出する			R6(2024)年度実績額	1,249千円
細事業名Ⅰ	起業家育成支援事業	実	1-2-③-29	担当課	水産商工観光課
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R6(2024)年度実施内容	乳製品製造業1件、新商品開発1件の申請に対し、補助金交付による支援を行った。				
進捗状況と課題	徐々に本制度が認知され、町内における起業の動きがみえつつある。【商工観光係】				

＜継続的事业＞					
主な事業・取組	1. 企業誘致に関する積極的なPR活動を展開する			R6(2024)年度実績額	32千円
細事業名Ⅰ	企業等誘致促進期成会補助事業	実	1-2-③-30	担当課	企画課
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R6(2024)年度実施内容	帯広・広尾自動車道「豊似～広尾間」の早期全線完成、十勝港の整備と利活用の促進及びメタンハイドレート海洋産出海域への選定に係る中央要請活動を行った。				
進捗状況と課題	高規格道路や十勝港など企業誘致等に係るインフラ等の整備要請を行ってきたが、今後は実際に企業を誘致する活動をどう展開していくかが課題となっている。【企画防災係】				

主な事業・取組	2. 広尾町企業振興促進条例などによる優遇措置(助成及び減免)を継続する			R6(2024)年度実績額	6,255千円
細事業名Ⅰ	企業振興促進補助事業	実	1-1-①-12	担当課	水産商工観光課
細事業名Ⅱ	企業振興促進補助事業	実	1-2-⑤-37	担当課	港湾課
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R6(2024)年度実施内容	(Ⅰ)水産物冷凍工場を新設した事業者に対し、固定資産税、都市計画税に相当する額の補助を行った。 (Ⅱ)補助金の交付による港湾関連事業者への2件の支援を行い事業拡大を促すことで、町内経済への波及効果を図った。				
進捗状況と課題	(Ⅰ)平成30年度から補助しており、令和4年度が補助期間の最終年度となる。【水産係】 (Ⅱ)企業支援により十勝港内での事業に関する促進効果は一定程度感じられるが、町内全体に経済効果が波及していると一概には言い難い部分がある。効果の作用する範囲の検証が困難である。【振興係】				

3. 施策の評価(担当課における評価)

Ⅰ: 施策の達成度(まちの現状と課題を解決するため、目指す方向に施策が進んでいるか)				記載者	
商港 企	A 想定以上に進んでいる	評価理由	<ul style="list-style-type: none"> 空き家バンクは整備されたが、空き家情報のデータベースや相談体制の構築には至っていない。企業誘致等は引き続き中央要望及び道への要望を行っていく。(企画課長補佐) 企業振興促進条例の対象となる施設に補助金を交付し、町内経済の振興を図ることができた。(水産商工観光課長) 港湾関連事業者に2件の支援を行ったことで、一定程度の振興効果を達成することができた。(港湾課長補佐) 		
	B 想定どおりに進んでいる				
	C 少し遅れている				
	D 大幅に遅れている				

Ⅱ: 施策の有効性(施策を推進するにあたって、事業の構成や規模、成果は有効であったか)				記載者	
商港 企	A 有効であった	評価理由	<ul style="list-style-type: none"> 空き家バンクは3件の登録があり、3件とも売買契約が成立した。企業等の誘致は高規格道路の事業化、十勝港の定期航路開設を足掛かりに今後積極的に進めていく必要がある。(企画課長補佐) 事業の性質上、成果が見えづらいが、企業の事業拡大に有効であったと考える。(水産商工観光課長) 企業支援により港湾施設の利活用を促進することで、一定程度、有効な成果をあげることができた。(港湾課長補佐) 		
	B 概ね有効であった				
	C あまり有効でなかった				
	D 有効でなかった				

※施策の達成度、有効性の評価理由は、施策全体の評価であることから課長職若しくは課長補佐職が記載すること。

4. 施策の総合評価

企業誘致・ 起業支援	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)
	一次評価（担当課の評価）				
	C	C	C	C	
	二次評価（主管者会議の評価）				
	C	C	C	C	
	外部評価（まちづくり推進計画委員会による評価）				
C	C	C	C		

評価の区分

- A KPIの達成状況、施策の達成度、有効性が認められ、大いに成果が得られた。
- B KPIが一部達成できなかったが、施策の達成度、有効性も高く、概ね成果が得られた。
- C KPIの達成状況には表れていないが、施策の達成に向けて事業を進めることができている。
- D KPI達成状況は芳しくなく、達成度が遅れている、もしくは有効性が低い。
- E KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは事業の達成度、有効性が見られない。

付帯意見	年度	主管者会議の意見	まちづくり推進計画委員会の意見
	R3(2021)		
	R4(2022)		
	R5(2023)		
	R6(2024)		
	R7(2025)		

第6次広尾町まちづくり推進総合計画 前期（R3～R7） 施策評価シート

作成年月 R 7年 11月

基本目標	1	豊かな自然を生かした活力ある産業のまちづくり
政策	2	商工業・観光の振興
施策	④	雇用・労働者対策の推進

1. 施策における成果目標の達成状況

指標			年度区分	単位	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	前期 達成状況		
活動 指標	1	多様な人材(高齢者、障がい者、外国人など)を労働者として受け入れる体制の整備	目標値	—					整備済	整備済		
			実績値	—	未整備	未整備	未整備	未整備		0		
	現状(R1)	中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	—	—	—	—			
	—	整備済	整備済	評価		c	c	c	c			
成果 指標	1	労働を伴う短期滞在者数【単年】	目標値	人					3	3		
			実績値	人	6	5	5	4		0		
			現状(R1)	中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	200.0	166.7	166.7	133.3	0.0
			—	3	5	評価		a	a	a	a	
	2	起業家等支援事業を通じた起業による新規雇用者数【累計】	目標値	人					40	40		
			実績値	人	15	16	17	18		0		
			現状(H27～30)	中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	37.5	40.0	42.5	45.0	0.0
			13	40	65	評価		b	c	c	c	
特記事項	R3 (2021)		R4 (2022)		R5 (2023)		R6 (2024)		R7 (2025)			
活-1												
成-1	体験住宅1人、ワーホリ5人		ワーホリ5人		ワーホリ5人		ワーホリ4人					
成-2	R2居酒屋1人、R3木工1人雇用		飲食店1人		教育、学習支援業1人		乳製品製造業1人					

※実績の内訳、根拠等について記載してください

評価の区分	a 目標達成に向け順調に進んでいる。 b 概ね順調に進んでおり、目標年次までに達成できる見込みである。 c 結果が表れていないが、目標達成に向け取り組んでいる。 d 進捗が遅れており、目標年次までに達成できない可能性がある。 e 取組内容や目標の見直しが必要な状況である。
-------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

2. 目標達成のための具体的な方法の達成状況等

＜短期的事業＞					
主な事業・取組	1. 町外の人材や高齢者などを労働者として受け入れる取組を実施する			R6(2024)年度実績額	1,000千円
細事業名Ⅰ	雇用・労働対策事業	実	1-2-④-31	担当課	水産商工観光課
細事業名Ⅱ	高齢者勤労事業部運営事業	実	2-1-①-17	担当課	保健福祉課
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R6(2024)年度実施内容	(Ⅰ) 広尾版ハローワーク事業として実施する「求人情報の一元化事業」を地域おこし協力隊の任務として「広尾しごと」の広報紙折り込みを2回実施。併せてホームページの改修を行い、通年的に運営した。 (Ⅱ) 高齢者の豊かな経験と技術を生かした就労の場の確保と、就労を通じた生きがいの充実を目的とした高齢者勤労事業部の運営に対し、補助金による支援を行った。				
進捗状況と課題	(Ⅰ) 事業所とのマッチング数は確実に増加しており、事業継続による地域の雇用を確保していく。【商工観光係】 (Ⅱ) 高齢者勤労事業部の登録者数は、前年比7人減の39人に減少し人員の確保に課題がある。今後も防災無線等での事業周知を継続して行き、新規人材確保に取り組む必要がある。【福祉係】				

主な事業・取組	2. 移住体験などと組み合わせた短期労働体験事業を実施する			R6(2024)年度実績額	546千円
細事業名Ⅰ	広尾町活き生きプロジェクト交付金	実	5-2-②-17	担当課	企画課
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R6(2024)年度実施内容	広尾町活き生きプロジェクトの事業として「ふるさとワーキングホリデー」を9月から11月まで実施し、道外の若者5人が広尾町で就業・生活しながら地域住民との交流を深めた。新たに任用した移住・定住を任務とする地域おこし協力隊を中心に体験事業や町民との交流機会を設けたことで、広尾町により印象を持ってもらうことができた。				
進捗状況と課題	令和6年度もふるさとワーホリ受入を継続し、広尾町での就業・生活、地域住民との交流を通して、「また来たい」と思ってもらうことで、関係人口の増加を図る。事業継続のため、受入事業所、体験事業など魅力あるプログラムの構築や宿泊施設の確保が課題である。また、移住体験住宅の今後の運営方針についても検討していく。【企画防災係】				

3. 施策の評価（担当課における評価）

Ⅰ: 施策の達成度（まちの現状と課題を解決するため、目指す方向に施策が進んでいるか）				記載者	
商企福	A 想定以上に進んでいる	評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ・担当する地域おこし協力隊が任用でき、紙面及びウェブサイトによる運用ができた。（水産商工観光課長） ・「ふるさとワーキングホリデー」事業により、大学生などの若者に労働を含めた体験事業を提供することができた。（企画課長） ・高齢者勤労事業部の周知を目的に広報活動を行い、一定の効果があつた。事業としては高齢者の豊かな経験と技術を生かした就労の場の確保につながっている。（保健福祉課長） 		
	B 想定どおりに進んでいる				
	C 少し遅れている				
	D 大幅に遅れている				

Ⅱ: 施策の有効性（施策を推進するにあたって、事業の構成や規模、成果は有効であったか）				記載者	
商企福	A 有効であった	評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ・紙面及びウェブサイトによる広尾版ハローワークは徐々に認知され、確実に実績を伸ばしている。（水産商工観光課長） ・「ふるさとワーキングホリデー」の参加者にまちの特色や魅力を大いにアピールすることで、将来の労働力確保に向けた種をまくことができた。（企画課長） ・高齢者勤労事業部の登録者数は減少したが、施策は有効であった。（保健福祉課長） 		
	B 概ね有効であった				
	C あまり有効でなかった				
	D 有効でなかった				

※施策の達成度、有効性の評価理由は、施策全体の評価であることから課長職若しくは課長補佐職が記載すること。

4. 施策の総合評価

雇用・労働者 1 2 4 の 推 進	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	
	一次評価（担当課の評価）					
	C	C	C	C		
	二次評価（主管者会議の評価）					
	C	C	C	C		
	外部評価（まちづくり推進計画委員会による評価）					
C	C	C	C			

評価の区分

- A KPIの達成状況、施策の達成度、有効性が認められ、大いに成果が得られた。
- B KPIが一部達成できなかったが、施策の達成度、有効性も高く、概ね成果が得られた。
- C KPIの達成状況には表れていないが、施策の達成に向けて事業を進めることができています。
- D KPI達成状況は芳しくなく、達成度が遅れている、もしくは有効性が低い。
- E KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは事業の達成度、有効性が見られない。

付帯意見	年度	主管者会議の意見	まちづくり推進計画委員会の意見
	R3(2021)		
	R4(2022)		
	R5(2023)		
	R6(2024)		
	R7(2025)		

第6次広尾町まちづくり推進総合計画 前期（R3～R7） 施策評価シート

作成年月 R 7年 11月

基本目標	1	豊かな自然を生かした活力ある産業のまちづくり
政策	2	商工業・観光の振興
施策	⑤	十勝港の整備と利活用の推進

1. 施策における成果目標の達成状況

指標			年度区分	単位	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	前期 達成状況	
活動 指標	1	定期航路の開設数【累計】	目標値	—					1	1	
			実績値	—	0	0	0	1	0		
	現状(R1)	中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	—	1	1	評価		c	c	b	a		
	2	地元企業による事業場の増設数【累計】	目標値	棟						2	2
			実績値	棟	0	0	0	0	0		
現状(R1)	中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
—	2	4	評価		c	c	c	c			
成果 指標	1	貨物取扱量【単年】	目標値	万トン					155	155	
			実績値	万トン	149.9	155.7	148	140	0		
	現状(H30)	中間(R7)	最終(R12)	達成率	%	96.7	100.5	95.5	90.3	0.0	0.0
	145	155	155	評価		b	a	b	b		
特記事項	R3 (2021)		R4 (2022)		R5 (2023)		R6 (2024)		R7 (2025)		
活-1											
活-2											
成-1											

※実績の内訳、根拠等について記載してください

評価の区分	<ul style="list-style-type: none"> a 目標達成に向け順調に進んでいる。 b 概ね順調に進んでおり、目標年次までに達成できる見込みである。 c 結果が表れていないが、目標達成に向け取り組んでいる。 d 進捗が遅れており、目標年次までに達成できない可能性がある。 e 取組内容や目標の見直しが必要な状況である。
-------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

2. 目標達成のための具体的な方法の達成状況等

＜短期的事業＞					
主な事業・取組	1. 定期航路の開設に向けた取組を推進する			R6(2024)年度実績額	2,410千円
細事業名Ⅰ	企業振興促進補助事業	実	1-2-⑤-37	担当課	港湾課
細事業名Ⅱ	十勝港湾振興会補助事業	実	1-2-⑤-32	担当課	港湾課
細事業名Ⅲ	十勝港物流調査事業	実	1-2-⑤-40	担当課	港湾課
R6(2024)年度 実施内容	(Ⅰ)対象施設に係る固定資産税及び都市計画税の合計額に相当する額に対し、補助金交付による支援を行った。 (Ⅱ)港湾利用促進事業を担う十勝港湾振興会に対し、補助金交付による支援を行った。 (Ⅲ)令和5年度で事業完了。				
進捗状況と課題	港湾利用促進事業の通じて十勝港の利活用と振興に努めた。その結果、令和6年5月から十勝港と首都圏を結ぶコンテナ船定期航路が開設となった。【振興係】				

主な事業・取組	2. 港湾内輸送の自動運転技術の導入を検討する			R6(2024)年度実績額	0千円
細事業名Ⅰ	輸送トラック自動運転技術導入事業	実	-	担当課	港湾課
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R6(2024)年度実施内容	※未実施				
進捗状況と課題	港内における飼料原料の施設間輸送に、トラックの自動運転技術導入を目指すべく複数の関係企業や自動車メーカー1社と協議を重ねてきたが、令和3年度に技術的・資金的な理由により即刻の実証実験の実施は困難との判断となった。今後も引き続き検討していく方針ではあるものの、再開の目途が見通せていない状況である。【管理係】				

主な事業・取組	3. 緑地を町民に親しみのある空間(親水空間)として活用するなど、海洋レクリエーション施設としての周知を図る			R6(2024)年度実績額	0千円
細事業名Ⅰ	レクリエーション機能向上事業	実	-	担当課	港湾課
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R6(2024)年度実施内容	※未実施				
進捗状況と課題	オンシーズンは主に釣り人がフィッシングを楽しむほか、親水緑地に隣接する楽古海岸では町外からも親子連れが海辺遊びに訪れているため、レクリエーションゾーンとして一定の機能は果たしている。令和6年度は釣り人同士が場所取り等でもめているなどの報告はなく、今後も親しみを持てる空間づくりに引き続き努めていきたい。【管理係】				

<継続的事业>					
主な事業・取組	1. 港湾の整備(航路、泊地の浚渫、物揚場など)を進める			R6(2024)年度実績額	269,300千円
細事業名Ⅰ	本港地区整備事業	実	1-2-⑤-33	担当課	港湾課
細事業名Ⅱ	内港地区整備事業	実	1-2-⑤-34	担当課	港湾課
細事業名Ⅲ	外港地区整備事業	実	1-2-⑤-35	担当課	港湾課
細事業名Ⅳ	十勝港港湾施設改修事業	実	1-2-⑤-36	担当課	港湾課
R6(2024)年度実施内容	本港地区航路(-13m、-14m)及び外港地区泊地(-2m)において起重機船による浚渫工事を行い、大型船舶及び地元漁船の安全かつ効率的な航行の確保を図った。また、損傷のあった防舷材を改修し、船舶に対して安全な係留施設の提供に努めた。				
進捗状況と課題	国からの負担金を活用し毎年のように浚渫工事を行うことで水深確保に努めているが、当該エリアは漂砂により堆積傾向が続いており、根本的な解決にはつながっていない実情がある。直轄事業として当事業を継続するためには、漂砂傾向を改善する何らかの対策を講じる必要がある。また防舷材についても、安定的に改修を実施できるよう、国の交付金など、予算財源の確保に努める必要がある。【管理係】				

主な事業・取組	2. 客船・官庁船の積極的な入港を要請する			R6(2024)年度実績額	240千円
細事業名Ⅰ	十勝港港湾振興会補助金	実	1-2-⑤-32	担当課	港湾課
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R6(2024)年度実施内容	海上自衛隊艦船2隻の入港受け入れ及び一般公開				
進捗状況と課題	令和6年度は海上自衛隊の護衛艦「いせ」、ミサイル艦「くまたか」の2隻が入港し、それぞれ一般公開を行った。今後もクルーズ船を含め、積極的な誘致受け入れに努めていきたい。【振興係】				

主な事業・取組	3. 地元港湾関連事業者による事業拡大を促進し、町内経済の活性化を図る			R6(2024)年度実績額	2,170千円
細事業名Ⅰ	企業振興促進補助事業	実	1-2-⑤-37	担当課	港湾課
細事業名Ⅱ		実		担当課	
細事業名Ⅲ		実		担当課	
R6(2024)年度実施内容	補助金の交付による港湾関連事業者への支援を行い事業拡大を促すことで、町内経済への波及効果を図った。				
進捗状況と課題	企業支援により十勝港内での事業に関する促進効果は一定程度感じられるが、町内全体に経済効果が波及していると一概には言い難い部分がある。目に見える効果を実績として表しづらい事業でもあるため、効果の検証方法についても何らかの設定が必要である。【振興係】				

3. 施策の評価（担当課における評価）

Ⅰ: 施策の達成度（まちの現状と課題を解決するため、目指す方向に施策が進んでいるか）				記載者	港湾課長補佐
	A 想定以上に進んでいる	評価理由	令和5年度まで物流調査（3年計画の3年目）を実施し、定期航路就航に向けたポートセールスを加速させた結果、令和6年5月より定期コンテナ航路の就航に結び付いた。そのほか、航路・泊地の浚渫工事を行い、船舶・漁船の安全確保に努めた。海上自衛隊艦船の誘致受け入れもを行い、一般公開を開催することができた。		
○	B 想定どおりに進んでいる				
	C 少し遅れている				
	D 大幅に遅れている				

Ⅱ: 施策の有効性（施策を推進するにあたって、事業の構成や規模、成果は有効であったか）				記載者	港湾課長補佐
	A 有効であった	評価理由	定期航路開設に向けては、川西ICの工業団地構想を持つ準備委員会や、複数の船会社と意見交換を行う機会が多く、連携を深め情報共有を図ることができた。また、航路・泊地の浚渫工事の実施により、貨物等取扱実績を残すことができたが、前年度と比べ浅い箇所も散見され、対応が必要である。クルーズ船の誘致については関係機関と連携を図りながら誘致に努めたい。		
○	B 概ね有効であった				
	C あまり有効でなかった				
	D 有効でなかった				

※施策の達成度、有効性の評価理由は、施策全体の評価であることから課長職若しくは課長補佐職が記載すること。

4. 施策の総合評価

十勝港の整備と利活用の推進	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	
	一次評価（担当課の評価）					
	C	C	B	B		
	二次評価（主管者会議の評価）					
	C	C	B	B		
外部評価（まちづくり推進計画委員会による評価）						
C	C	B	B			

評価の区分

- A KPIの達成状況、施策の達成度、有効性が認められ、大いに成果が得られた。
- B KPIが一部達成できなかったが、施策の達成度、有効性も高く、概ね成果が得られた。
- C KPIの達成状況には表れていないが、施策の達成に向けて事業を進めることができている。
- D KPI達成状況は芳しくなく、達成度が遅れている、もしくは有効性が低い。
- E KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは事業の達成度、有効性が見られない。

付帯意見	年度	主管者会議の意見	まちづくり推進計画委員会の意見
	R3(2021)		
	R4(2022)		
	R5(2023)		
	R6(2024)		
	R7(2025)		